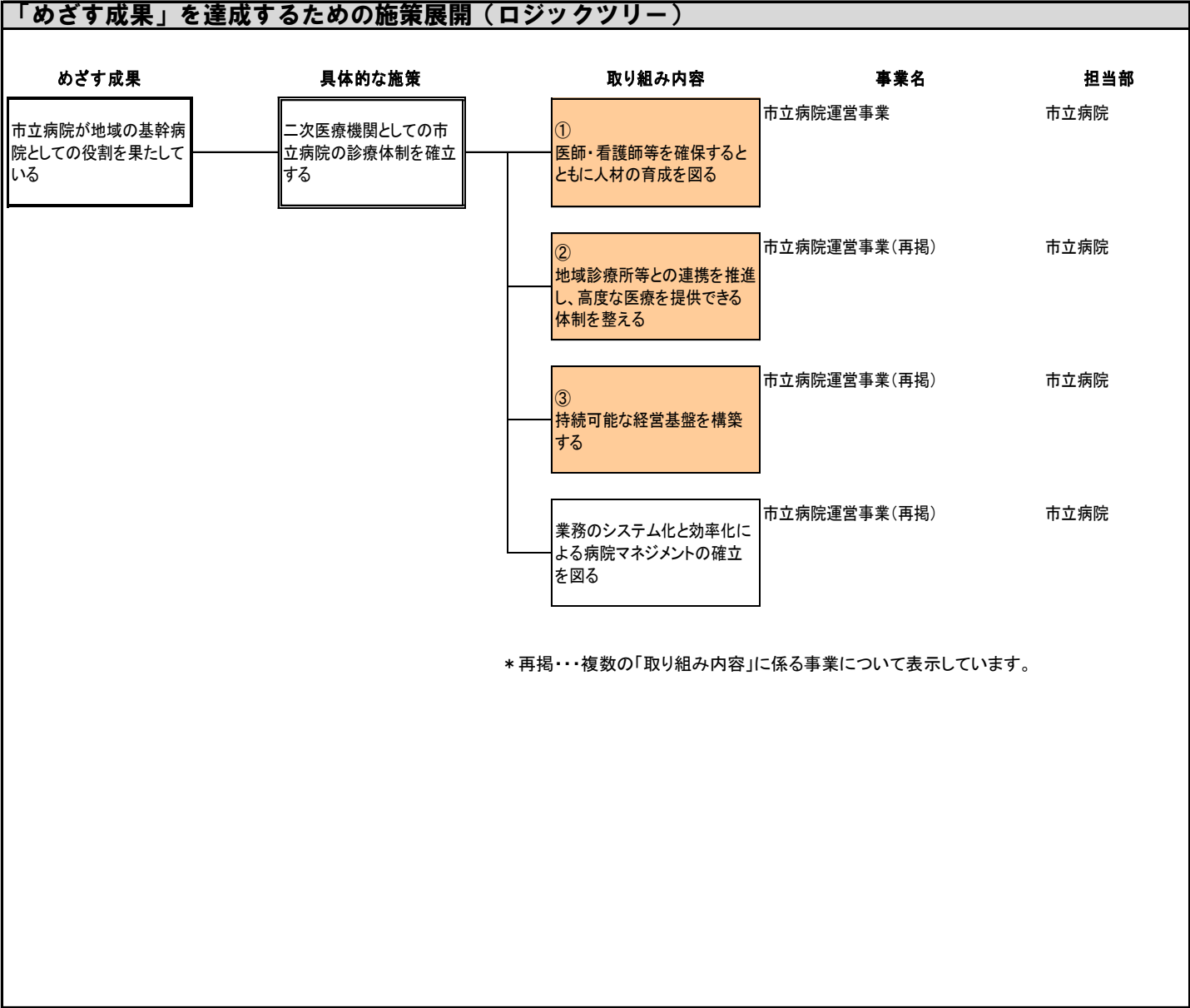


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1－2－2 市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	いつでも必要な医療が受けられる
	めざす成果	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている
		医療の高度化や地域連携が図られており、地域の基幹病院としての役割を果たしています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
医師の総数		紹介率		市立病院における経常収支率	
計画策定時	65人	計画策定時	28.30%	計画策定時	88.90%
現状値		現状値		現状値	
実績値（H21）	65人	実績値（H21）	35.70%	実績値（H21）	96.00%
中間目標値（H23）	79人	中間目標値（H23）	38%	中間目標値（H23）	100%
目標値（H25）	79人	目標値（H25）	42%	目標値（H25）	100%

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
主な取り組み内容	【二次医療機関としての市立病院の診療体制を確立する】 ・平成22年4月現在、正職医師（含、短時間任用1名）は72名となり、平成21年度末に比べ7名を増員することができました。 ・収入の確保では、平成22年3月から7対1看護基準の算定を開始しました。支出の削減では、外部発注の検査委託を直営に戻し委託料を削減しました。 ・薬品調達に関して、SPDによる委託化を開始したことにより、病院総務課施設用度担当を1名削減することができました。	
構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・大和市立病院が地域の基幹病院として在り続けるには、健全で安定した経営のための改善が不可欠であり、その結果、良質な医療サービスが地域住民に提供できるようになります。そのためには、経営改善のために策定された「大和市立病院経営計画」に掲げた緊急対策項目を早急に実行していかなければなりません。	
今後の展開方針		
新規事業の立案	・DPC導入に向けた準備や、医師・看護師の事務作業負担軽減、NICUに施設基準取得について検討します。	（該当する事務事業） 市立病院運営事業
既存事業の拡充	・診療体制の充実に対応するための職員定数見直しと長期的展望にたった職員確保対策を推進するとともに、小児救急をはじめとする救急医療体制の充実やさらなる施設基準の見直しと新たな施設基準の取得について検討します。	（該当する事務事業） 市立病院運営事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し		（該当する事務事業）
施策への提言		
総合計画審議会記入欄	・市立病院には一般会計から多額の繰出金が投入されており、いわば大和市民の税によって支えられていると言えます。 ・大和市民には市立病院があることで、他市の市民よりも安心感が持てるように、市立病院の役割について広報する事が大切であると考えます。 ・また、急性期の二次医療機関としての役割を果たしつつ、人間ドック等の疾病予防についての取り組みを行っているとのことですが、その必要性、効果などについては検証が必要と考えます。	